

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メーキング基礎実習 I		授業のねらい	
担当教員	紀井、永尾、櫻井		靴、鞆の基本的な構造と制作技法を習得していく。また、靴、鞆にまつわる歴史的知識の学習や、靴、鞆を構成する革素材についての学習を行う。	
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	624時間	単位数	19単位	到達目標
開講期間	2025.4.1～2026.3			靴、鞆の基本となるスタイルのパターンから縫製、アイテム完成までの一連の制作技法を学び、学生が自らの手で基本スタイルの作品を制作することができることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(靴、鞆の構造と基礎知識)			
	内容	靴の構造と基礎知識を学ぶ 靴の分解とレポートの提出		
	メーキング基礎実習 I-2(ダービーシューズ制作)			
	内容	紳士靴の構造、制作方法を学ぶ ミシン、漉き機の使用方法を学ぶ 足の計測・作業を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(メンズ基本パターン)			
	内容	木型からフォーム～原型制作技術の習得 ダービーシューズパターン習得		
	メーキング基礎実習 I-4(レディースパンプス制作)			
	内容	婦人靴の構造を学ぶ 制作方法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-5(スニーカー制作)			
	内容	スニーカーの底付けを学ぶ ウェッジソールの加工方法を学ぶ EVAの加工技術の習得		
	メーキング基礎実習 I-6(メンズ基本パターン)			
	内容	オックスフォードパターン習得		
	メーキング基礎実習 I-7(オックスフォードシューズ制作)			
内容	革素材について学ぶ 自分のサイズの木型で制作する			
メーキング基礎実習 I-8(トートバッグ制作)				
内容	パターン基礎練習・ミシンの取り扱いについて・ミシンによる縫製練習 規定サイズのポーチ作成・通しマチパターン制作技術の習得			
メーキング基礎実習 I-9(ドラムバッグ制作)				
内容	横マチパターン制作技術の習得			
メーキング基礎実習 I-10(ボストンバッグ制作)				
内容	ミシン縫製による革の丸手ハンドル制作・通し身頃パターン制作技術の習得・内装落とし込み技法の習得 玉付け/玉まとめ技法の習得・革漉き技術を学ぶ			
メーキング基礎実習 I-11(革のトートバッグ制作)				
内容	革バッグ外縫い技術の習得 表面加工(切り替え)バリエーション・革漉き技術の習得			
履修上の注意事項	基本技法の習得のため、1つ1つの工程を丁寧にすることが大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴、鞆のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 I			授業のねらい 1年次に学ぶ制作技法を基に、基礎的なスタイルから各自のアレンジを加えオリジナルデザインの靴または鞆制作を行う。
担当教員	紀井、永尾、櫻井			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 各デザインに合わせた適切な制作構造と技法を選び、オリジナルデザインの靴または鞆を完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(オリジナルシューズまたはバッグ制作)			
	内容 1年間で学んだ制作技術を応用した、オリジナルシューズまたはバッグの制作			
履修上の注意事項	計画性をもち、基本技法の復習を兼ねて制作することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン実習 I			授業のねらい デザイン画描写における基本的な描写技術を学び、靴、鞆の形態認識や立体物の陰影表現方法を習得する。
担当教員	永尾、紀井、相田			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	240時間	単位数	8単位	到達目標 鉛筆での描写や、マーカーを使ったデザインスケッチ等、様々なツールを使ったデザイン画作成と線画仕様書作成ができるスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、相田(バッグデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン実習 I-1(立体造形)			
	内容	切削による造形演習		
	デザイン実習 I-2(仕様書&原寸図面基礎演習1)			
	内容	バッグ基礎知識・原寸図面の基礎表現・立体の平面表現・原寸ドリル		
	デザイン実習 I-3(デザイン画ドリル演習1)			
	内容	ドリルを使ったトレーニング、線画描写技術、マーカー描写技術の習得		
	デザイン実習 I-4(CAD)			
	内容	CADによるシューズ/バッグ アクセサリー造形		
	デザイン実習 I-5(素材リサーチ)			
	内容	様々な素材の加工方法、素材分解、構築実験		
デザイン実習 I-6(レイアウトデザイン)				
内容	ブックによるレイアウトデザイン			
デザイン実習 I-7(オリジナルアイテムデザイン)				
内容	靴またはバッグのオリジナルデザイン			
履修上の注意事項	物の立体感と素材感をよく観察することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 II		授業のねらい 1年次に習得した技術の応用として新しい技法のバリエーションを習得し、作品制作の幅を広げる。	
担当教員	紀井、永尾、櫻井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	400時間	単位数	12単位	到達目標 新たな制作技法と知識を学び、制作できる靴と鞆のスタイル数を増やし、様々なデザインに対応できる力を身につけることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 II-1(グッドイヤーシューズ制作)			
	内容	グッドイヤー製法の習得		
	メイキング基礎実習 II-2(一本手口金バッグ制作)			
	内容	ヌメ革素材の取り扱い方を学ぶ、イセ込み技法を学ぶ		
授業の計画展開	メイキング基礎実習 II-3(足の計測からの木型制作)			
	内容	足の計測からの木型制作 足と靴のフィッティングについて学ぶ		
履修上の注意事項	一年次の基礎技術をふまえ、応用技術に対して注意深く丁寧に作業を行う事が大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 II		授業のねらい
担当教員	紀井、永尾、土屋		靴の基礎となる木型についての知識と木型制作におけるノウハウを知る。木型の形状とデザインの関係性、また木型の形状と足の関係性についても学習する。また1年次に習得した基本技術を応用し、オリジナルデザインの靴または鞆を制作する。生産工場の協力を得ることで商品としてのクオリティについて学ぶ。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	368時間	単位数	
開講期間	2024.4.1～2025.3		到達目標
授業形態	実習		デザインに応じた適切な木型の形状を選択・制作できる感覚を養うことを目標とする。また、足の計測方法を学び、足に合った木型の制作・修正を行うことを目標とする。また、テーマに対する目的・優位性・利便性を明確にし、コンセプト立案した上でのデザイン・制作を行う力を身につけることを目標とする。
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、土屋(靴職人)		
授業の計画展開	メイキング造形実習 II-1(イメージからの木型制作)		
	内容	デザインと木型と靴の関係を学ぶ 木型に合ったデザインを知る 木型の切削方法を学習する	
	メイキング造形実習 II-2(シューズ&バッグ商品制作)		
	内容	販売を前提としたシューズとバッグを制作、販売する	
授業の計画展開	メイキング造形実習 II-3(オリジナル作品制作)		
	内容	テーマを基にリサーチを行いオリジナルの靴または鞆を制作する	
履修上の注意事項	デザイン展開や計測などのリサーチ内容をどのように木型や靴の形状に展開するのかをよく考察することが大事である		
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	なし		

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン実習 II			授業のねらい インハウスデザイナーとして外部生産に向けた仕様書におけるルールや表現方法を学ぶ。
担当教員	紀井、田川			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	240時間	単位数	8単位	到達目標 デザイン立案から外部生産における発注までの流れを習得し、インハウスデザイナーとしてのデザインスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2024.4.1～2025.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田川(シューズデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン実習 II-1(ブーツパターン)			
	内容	ブーツのパターン設計の習得		
	デザイン実習 II-2(バッグパターン)			
	内容	バッグパターンバリエーション設計の習得		
	デザイン実習 II-3(レディースシューズ仕様書制作)			
	内容	外部生産に向けた仕様書作成を学ぶ		
	デザイン実習 II-4(マーケットに向けた商品開発)			
	内容	トレンドを踏まえたシリーズ展開、コレクションの構造を学ぶ 企業に向けたデザイン提案		
	デザイン実習 II-5(PORTFOLIO)			
	内容	ポートフォリオ制作		
デザイン実習 II-6(ルーツを考えるバッグデザイン)				
内容	バッグの起源について考える、思考したバッグのモックアップ制作			
デザイン実習 II-7(CAD)				
内容	CADによるバッグ ハンドル造形			
履修上の注意事項	外部発注において必要なルール、表現方法を理解し、実際の現場で通用する仕様書を作成することが大事である。			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			



授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 企業や社会、業界が持つマーケットに対して、様々なアプローチからリサーチを行い、ターゲットやニーズに向けた新しいアイデアを発信提案する。自己の世界観とセンスを現代社会にリンクさせ、現代的で実践的な靴、鞆開発を行う。
担当教員	紀井、永尾			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	800時間	単位数	24単位	到達目標 課題に対し各自でテーマとコンセプトを立案し、リサーチ対象を深掘りし問題提起から解決案を導き出す。明確なコンセプトからデザイン展開し、2年間で学習してきた技術を用いて作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	<p>メイキング造形実習Ⅲ-1(マーケットに向けた商品開発)</p> <p>内容 企業連携プログラム 小学生の荷物事情をリサーチし、新しいランドセルを考案・制作する 問題を見つけ体感を基にしたリサーチから解決アイデアを提案する</p> <p>メイキング造形実習Ⅲ-2(リサーチから生まれる靴または鞆制作)</p> <p>内容 自身のクリエイティビティ等をリサーチしたオリジナルデザインの靴または鞆の制作</p> <p>メイキング造形実習Ⅲ-3(卒業制作)</p> <p>内容 各自でテーマを決め業界社会に新たな靴や鞆を提案する</p>			
履修上の注意事項	各実習テーマにおけるリサーチ項目を明確にし、リサーチの深掘りをする事が大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 2. 各実習における作品のプレゼンテーション内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン実習Ⅲ		授業のねらい ブランド企画からマーケットリサーチ、トレンドリサーチなど、業界におけるデザイナー／プランナー／クリエイターに必要なリサーチ業務、デザイン展開を学ぶ。	
担当教員	紀井			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 各学生が自身のブランド立案からデザイン画によるコレクション作成まで、インディペンデントデザイナーとしてのスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ソール制作)			
	内容	足の成長及び歩行のメカニズムを学びソールを制作する		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(アイテム企画立案)			
	内容	既存ブランドリサーチからの新企画提案・プロモーション		
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-3(ブランド企画立案)			
	内容	オリジナルブランドの商品企画／デザイン		
履修上の注意事項	ブランドやマーケットのリサーチにおいて、個人の世界観と市場で売られている商品の相違点をよく観察する事が大事である			
評価方法	各実習における制作した企画書や作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 III			授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。
担当教員	永尾			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成)			
	内容	国内外の歴史やトレンドから発想を得る		
履修上の注意事項	講義において出題されたテーマに基づき、自身の見解とその根拠を順序立ててまとめる事が大事である。			
評価方法	講義を聴講し作成したレポートによる評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			